

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 多治見市における循環のみちの実現(防災・安全)(減災)(重点計画) 都道府県名: 岐阜県(多治見市)

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	○
1) 流総計画、下水道事業計画等の各種計画と適合しているか。	○
2) 各種法令(都市計画法、下水道法等)を遵守しているか。	○
②下水道に対する各自治体の課題への対応	○
1) 下水道に対する各自治体の課題と整備計画目標の整合が図られているか。	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
1) 目標と定量的指標が住民に対して分かりやすいものとなっているか。	○
2) 目標及び定量的指標と事業内容の整合性が図られているか。	○
②期待される事業効果	○
1) 成果目標値(事業効果)が妥当なものになっているか。	○
2) 効果促進事業を行うことによる相乗効果が得られるものとなっているか。	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境	○
1) 長期的収支計画の見通しが検討されているか。	○
2) 関係機関との協議や住民との合意形成等を踏まえて、事業の実施は可能か。	○

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成29年3月10日

計画の名称	多治見市における循環のまちの実現（防災・安全）（減災）（重点計画）										重点配分対象の該当		○
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度（5年間）							交付対象	多治見市				
計画の目標													
下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。													
計画の成果目標（定量的指標）													
①災害時における池田下水処理場等水処理施設の機能確保率を22.2%（H26）から44.4%（H30）に増加させる。 ②重要な管渠の地震対策実施率を73.9%（H26）から80.9%（H30）に増加させる。 ③平成23年豪雨相当の雨に対して、床上浸水戸数を439戸から概ね解消させる。 ④平成24年度に実施した市民意識調査における「雨水の排水施設整備などの浸水対策（昭和小学校区）」の市民満足度を-0.46ポイントから0.0ポイントに上昇させる。													
定量的指標の定義及び算定式													
										定量的指標の現況値及び目標値			備考
										当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)	
①災害時における池田下水処理場の水処理施設の機能確保率 水処理施設のうち耐震化された水処理施設／全水処理施設										22.2%	22.2%	44.4%	
②重要な管渠の地震対策実施率 重要な管渠のうち、耐震化または減災対策が行われている延長（km）／重要な管渠の延長（km）										73.9%	76.7%	80.9%	
③平成２３年度豪雨時における床上浸水戸数										439戸	217戸	0戸	
④市民意識調査における「雨水排水施設整備などの浸水対策」の項目の市民満足度（昭和地区）										-0.46ポイント	-0.3ポイント	0.0ポイント	
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	5428百万円	A	5428百万円	B	0	C	270百万円	D	0	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C+D)	5.0%	

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	264	579			
計画別流用 増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	264	579			
前年度からの繰越額 (d)	0	158			
支払済額 (e)	241	421			
翌年度繰越額 (f)	23	316			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%			
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由	-				

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。
※ 平成28年度は、決算額が確定でき次第記載。

計画の名称	多治見市における循環のみちの実現（防災・安全）（減災）（重点計画）		
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度（5年間）	交付対象	多治見市

